

(様式第1号)

受 付 日 平成 年 月 日
受 付 番 号 第 号

住宅の応急修理申込書

安平町長 及 川 秀 一 郎 様

住宅の応急修理を実施されたく申し込みます。

なお、住宅の応急修理の申し込みに関して、世帯員の収入、世帯構成を町の担当者が調査、確認することに同意します。

被害を受けた住宅の所在地	
現在の住所	
現在の連絡先 (TEL)	
生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日生 (歳)
氏 名	印

1 被 災 日 時 平成 年 月 日

2 災 害 名 平成30年度北海道胆振東部地震

3 住宅の被害の程度 全壊 ・ 大規模半壊 ・ 半壊
(※町が発行する「り災証明書」に基づき、被害の程度に○をつけてください。)

4 被害を受けた住宅の部位 (※該当箇所に○をつけてください。)

屋根	ドア	電気・電話線・テレビ線の配線
柱	窓	トイレ
床	サッシ	浴室
外壁	上下水道の配管	
基礎	ガスの配管	
梁	給排気設備の配管	

5 世帯の状況

(世帯に属するもの： 人)

氏 名	世帯主との続柄
	世帯主

【添付書類】

- 1 住宅が半壊の被害を受けたことが確認できる町が発行するり災証明
- 2 申出書（大規模半壊の住宅被害を受けた者を除く。）

※これらの書類は事後提出も可能です。

(様式第2号)

平成 年 月 日

住宅の応急修理施工業者願書

安平町長 及 川 秀 一 郎 様

(修理申込者) 住 所

氏 名

印

私は、平成30年北海道胆振東部地震における住宅の応急修理実施要領に基づく施工業者として、下記の業者としてくださるようお願いいたします。

記

(業者名) 住 所

氏 名

印

※添付書類

業者を証明する添付書類：(法人) 建設業許可証写し等

(個人) 運転免許証写し等

修理見積書

見積金額 (応急修理分) 円 (他に被災者負担分 円)

Table with columns: 工事名称, 対象 (※1), 数量, 単価 (税込), 金額 (税込), 備考. Rows include items like 仮設工事, 木工事, 屋根工事, etc., with a summary section at the bottom.

※1 住宅の応急修理の対象となる工事について「○」を、対象とならない工事について「×」を記入すること。
※2 1世帯あたりの限度額を超える部分の工事については被災者負担分に計上すること

上記のとおり見積もり致します。

(業者記入)

平成 年 月 日

郵便番号
住所
会社名
代表者名
電話番号

印

上記の見積もりを確認しました。

(修理申込者記入)

平成 年 月 日

住所
氏名

印

(安平町記入欄)

受付担当者名

(様式第4号)

平成 年 月 日

修 理 依 頼 書

(施工業者)

様

安平町長 及 川 秀 一 郎 印

次の被災者住宅について、別添修理見積書(写)のとおり応急修理するよう依頼しますので、工事完了後、速やかに「工事完了届」を提出してください。

さお、工事内容の最終確認の結果、経費によっては応急修理の対象外となることもありますのでご了承ください。

1 被災者住所・氏名

2 対象住宅所在地

3 受付番号

4 依頼工事の見積書 金 円(応急修理分)

(添付書類)

修理見積書(写)

(様式第5号)

平成 年 月 日

工 事 完 了 報 告 書

安平町長 及 川 秀 一 郎 様

(施工業者) 印

次の被災者住宅について、別添修理見積書(写)のとおり応急修理を完了しましたので、報告します。

- 1 被災者住所・氏名
- 2 対象住宅所在地
- 3 受付番号
- 4 完了年月日 平成 年 月 日

【添付書類】

- ・修理見積書(写)
- ・工事写真(施工前、施工中、施工後)

(様式第6号)

申 出 書

私、_____は、平成30年北海道胆振東部地震のため住家が半壊しております。

住家を修理する資力が下記の理由のとおり不足するため、応急修理を実施いただきま
すようお願いいたします。

記

※世帯の収入の状況、資力が不足する理由を具体的に記入ください。

平成 年 月 日

申 出 者 現 住 所 :

被害住宅の所在地 :

氏 名 :

印

【参考】申出書についての例示

(記入例)

- ・年金収入のみで余裕がなく、応急修理を実施できる資力がありません。
- ・世帯の年収が〇〇〇〇円であり、日常生活費やローンの支払い等で余裕がなく、応急修理を実施できる資力がありません。
- ・主たる生計者である〇〇が、勤務している会社から〇月〇日から〇月〇日まで自宅待機（一時休業）とされたことにより、収入減（年収減）となる（なった）ため、応急修理を実施できる資力がありません。
- ・主たる生計者が〇年〇月で、勤務していた会社を退社し、新しい会社に就職したが、収入が減少したため、日常生活費やローンの支払い等で余裕がなく、応急修理を実施できる資力がありません。
- ・地震により勤務していた会社が被害を受け、廃業することとなり、職を失い、収入がなくなったため、応急修理を実施できる資力がありません。
- ・介護が必要な父（母）がおり、介護費用等の出費で余裕がなく、応急修理をできる資力がありません。

※資力が無い理由は様々であると思いますので、何らかの理由をご記入いただくようご説明ください。